

「人づくり」への貢献

産学連携による人材育成への取り組みを強化

東京情報大学は、企業が保有するナレッジや事例を大学の教育現場で活用し、さらに社会に発信することで、社会全体における情報技術の向上や大学教育における技術者育成に貢献することをめざしています。日立システムズでは、同大学の人材育成の考え方に賛同し、2013年度から、セキュリティ対策やデータセンターの運用技術に関する公開講座・学内講座を開催しています。

さらに、同大学と協力して2018年までに即戦力となる300名の情報セキュリティ人材の育成を開始。その第一弾として、2016年2月27日に「インシデントレスポンス概論～マルウェア動的解析～」と題した、日立システムズのエンジニアによる公開セミナーを実施しました。

今後、情報セキュリティ人材の量的拡大、質的向上に貢献するため、情報セキュリティに関連する既存講座内容の見直しや、新規講座の開設などさらなる拡充を進め、産学連携の取り組みを継続的に発展させていく予定です。



公開講座の様子

大学生向け教科書の補助教材を作成

学生の学習支援を目的に、大学生向け教科書の補助教材を作成しました。教科書にはレストランシステムの事例として、当社ソリューションBistroMateについての記載があり、システムフローを実際のレストラン業務と照らし合わせて視覚的に確認することで、学生の理解を補助しています。教材はその教科書を使用する教員に対して配布され、大学の講義などで使用されます。

[ビストロメイト 商品ページ](#) 

Bistro Mate

外食業向けASPサービス
「BistroMate (ビストロメイト)」



補助教材の画面

「子ども110番」活動への参加

子どもたちが犠牲となる凶悪な犯罪が後を絶たない中、地域の自治体・警察・PTA・自治会などが住民や企業に呼びかける「子ども110番運動」が、全国各地で展開されています。この活動は、地域ぐるみで犯罪の被害者となる危険を感じた子どもを安全な場所へ一時的に保護し、110番通報の支援を行うものです。当社でも全国に300のサービス拠点を持つ地域密着性を生かして、2007年6月から活動に参加。全国に配備したサービスカー（業務用車両）を活用して「子ども110番」活動を実施しています。



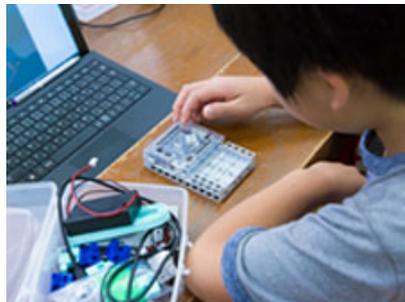
サービスカー



子ども110番マーク

IT教室の開催

当社は、IT事業の技術や知識を生かし、IT教室を実施しています。教育界で深刻化している児童・生徒の「理科離れ」を打破する糸口の一つとして2007年より開始したこの取り組みは、生活を取り巻くITを説明し、PCの分解や組み立て、プログラミングによるロボットの制御体験を通じて、子どもたちにモノづくりの楽しさや科学のおもしろさを知ってもらう機会を提供しています。



IT体験教室の様子

職場体験・企業訪問の実施

若年代における職業意識の形成に寄与するとの観点から、当社では中高生による職場体験・企業訪問の受け入れを行なっています。

参加した生徒一人ひとりが、職場体験・企業訪問を通じて企業活動への理解を深めるとともに、望ましい勤労観・職業観を養い、働くことの大変さ・喜び・意義など将来の生き方を見つめられる学習の機会を提供することに努めています。

【開催実績】2016年度までに累計37校372名に実施
 <2016年度>

実施日	学校名	参加者数
5月12日	宮城県仙台市立向陽台中学校	7
6月2日	岐阜県中津川市立苗木中学校	3
6月16日	滋賀県高島市立マキノ中学校	6
10月3日	兵庫県立姫路東高等学校	9
10月6日	茨城県立下館第一高等学校	40
10月13日	福井県立高志高等学校	5
10月26日	和歌山県立古佐田丘中学校	13
12月5日	宮城県立延岡高等学校	14
12月14日	長崎県立五島海陽高等学校	15
2月3日	川崎市立野川中学校	10
2月9日	新潟大学教育学部附属新潟中学校	3
3月15日	福井県小浜市立小浜中学校	6
3月16日	福井県おおい町立大飯中学校	6



当社若手社員による業務紹介



当社若手社員による業務紹介



製品サービスの体験

リサイクルPCの寄贈

当社は、日本国内の小中高等学校・支援学校のIT環境の整備を目的に、2005年からPCの寄贈を行なっています。東日本大震災発生後の被災地教育機関への寄贈も合わせ、累計で1,000台以上のPCを寄贈しています。



リサイクルPCのために従業員が初期化

障がい者の自立を支援

障がいのある学生の就職を支援

当社は、職業的な自立と社会参加の支援活動として、障がいのある学生を対象にした就職模擬面接会を継続的に開催しています。本面接会では従業員が面接官を担当し、学生に自己PRの仕方や履歴書の書き方など、就職活動に役立つアドバイスを実施。また、IT業界や当社についての説明のほか、学生が当社の先輩従業員と直接対話する機会を設け、就職活動の悩みや実際の当社での勤務状況などについて質疑応答も行なっています。



質疑応答の様子

盲導犬への理解促進活動

当社では、視覚に障がいのある従業員の通勤途上の安全とCSRの観点から、本社に盲導犬を受け入れ、従業員にとってより良い職場環境づくりに努めています。また、こうした取り組みを「盲導犬受け入れノウハウ」として整理し、2009年2月から公式Webサイト上で社外に公開しています。

併せて、当社は法人賛助会員として公益財団法人日本盲導犬協会に協賛することを通じて、盲導犬の育成と視覚障がい者の社会参画を支援しています。

盲導犬のことを知ろう！（盲導犬受け入れQ&A）[🔗](#)

ALS患者向け意思伝達装置「伝の心」貸出業務の無償代行

当社は、筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の療養生活の質向上と治療法の確立をめざす「日本ALS協会」を支援しています。日立製作所の開発したALS患者向け意思伝達装置「伝の心」の貸出機の無償設置、操作説明ビデオテープの無償制作のほか、2012年からは、「ロジスティクスソリューションサービス」を活用して「伝の心」の貸出業務を無償で代行しています。

本サービスを利用することでALS協会事務局の業務負荷を軽減し、迅速に貸出サービスを提供できるようになりました。

寄付活動

NPO法人ぶどうのいえ

難病治療のために上京する子どもとその家族が滞在できる施設を運営している認定NPO法人「ぶどうのいえ」への寄付を毎年実施しています。2016年度は20万円を寄付しました。

「親切会」への支援

福祉施設やボランティア団体に寄付している「親切会」主催の歳末助け合い募金活動に毎年協力するとともに、使用済み切手の収集と送付も行なっています。